

選抜高校野球組み合わせ決定

光星×開星(島根) 青森山田×敦賀気比(福井)

頂点目指し闘志



第88回選抜高校野球大会(20日(土)17日(日)手廻)の組み合わせ抽選会が11日、大阪市の毎日新聞大阪本社1ホールで行われ、出場校の1回戦の対戦相手が決まった。東北地区代表の青森県勢の校は、八学光星が開星(島根)、青森山田が史上3度目の春連戦を指す敦賀気比(福井)とあつかる。東北ではほかに、金石(岩手)が小豆島(香川)と引続き松岡士の初戦を迎える。春連戦したワリ2年、以来の優勝を目指す大阪桐蔭は主将(高知)と顔を合わせ、全国最多40校目の出場となる龍谷大平女(京都)は明徳義塾(高知)と激突する。昨秋の明治神宮大会を制した高松商(香川)は初出場のない総合学園(三重)と対戦する。開会の選手宣誓は出場校の主幹会員による抽選で、小豆島の橋本尚也主将が務める。東日本大震災から5年に当たり、抽選会の冒頭に黙とうを実施した。

開星島根の甲子園常連

松江市の私立校。昨秋の投球が持ち味。昨秋の公式中連大会で4強入りし、6戦は試合時間を保持し、防御率年々3割以下のセーブシュートで、夏の選手権大会でも投手陣の活躍が目を引いた。昨秋の公式戦でも投手陣の活躍が目を引いた。昨秋の公式戦でも投手陣の活躍が目を引いた。

敦賀気比優勝候補の一角

福井県敦賀市の私立校。筒嶋一平は昨夏のマウンドで、史上3校目の春連戦を経験、伸びのある直球に目指す。昨秋の北信越大会を加えて、スライダーを制し、続く明治神宮大会を制して、昨秋の公式戦では準決勝で青森山田を下して準々決勝まで進出した。セーブシュートは、昨秋の公式戦で、史上3校目の春連戦を経験、伸びのある直球に目指す。

攻守の動き確認 関西入りの光星初練習



八学光星は11日、大阪府へ行った。打撃投手がマン・デーの豊中市の豊中ローズ球場で、関西入り後の初練習を、離れハッテンの数字は試合順。丸数字は出場回数、角数字は初出場。

Table listing the schedule for the 88th All-Japan Intercollegiate Baseball Championship, including dates, times, and participating teams from various regions.

青森山田×敦賀気比

うちの良さ生かす 青森山田・兜森訓監督 神宮大会では多くの課題が見つかり、その反省を踏まえて冬場の練習を積んできた。初戦で敦賀気比と対戦できるということで、いい状態です。

神宮大会のリベンジ

青森山田・内山昂思主将 (昨秋の)明治神宮大会で負けた相手だが、エースの堀岡人は(その試合で)投げていないので、違った展開になると思う。お互いにどんなチームかは分からない。接戦になるだろうが、リベンジを目指して全力でやるだけ。

粘り強い相手

敦賀気比・西谷平監督 相手は粘り強く、足の速い選手が多い。三森大興君は打席に立っているだけで雰囲気があり、下位打線からも長打が出る。初戦まで日にちが空くので、今は投手に練習試合で少し長いイニングを投げてもらい、実戦経験を積ませて置きたい。

初戦が一番大切

敦賀気比・林中勇輝主将 お互いに相手を知っているのと、やりにくい部分はあるが、とにかく全力で戦いたい。ここまでは(昨春に優勝した)先輩たちのおかげで、名前が勝つて試合もあった。初戦が一番大切。いかにいい展開にできるかに懸かっている。